

は じ め に

鳥取県立博物館は、昭和47年に開館以来郷土の博物館として、また県民の学習の場として多くの方に親しまれております。

昭和62年度は、特別展「狩野派の名宝」、「恐竜と鳥獣の歴史」、「開港への序曲」及び催物展「因伯の古地図展」、「考古資料展」、「尾崎悌之助遺作展」を開催するとともに、常設展では、地学・生物・歴史・民俗・美術の各分野において郷土資料を中心とした解説展示を行いました。

また、教育普及活動では、巡回展「館蔵資料名品展」を境港市で開催したほか、講演会・土曜講座・見学会等の事業を実施するとともに、特別展示室、講堂及び会議室等を広く県民の文化活動のために提供し、この1年間に合わせて114,205人の方々に利用していただきました。

そのほか、博物館資料の収集、調査研究、常設展示室の改善についても、積極的に取組み成果をあげることができました。関係各位の絶大なる御援助と御協力のたまものと深く感謝申し上げる次第です。

本館が、新しい企画のもとに種々の改善を行いながら、県民の文化施設として一層親しまれる博物館となるよう努力してまいりたいと思いますので、今後とも格段の御協力と御指導をお願い申し上げます。

昭和 63 年 9 月

館 長 長 石 肇